



安芸太田町教育21もみじプラン教育目標 「地球・世界的規模の視野を持ち、世界や地域社会に貢献する人づくりをめざす」												
ミッション 地域社会に貢献できる生徒の育成					ビジョン 主体的で協調的な学びの推進							
学校教育目標 学びを生き方につなぐ教育の創造 めざす生徒像 挑戦 感動 感謝の心をはぐくむ生徒					学校研究主題 深い学びを引き起こす授業づくり ～「知識構成型シグソー法」を取り入れた単元開発を通して～							
中期 経営目標	短期 経営目標	評価項目及び評価方法			評価基準	担当 分掌	中間 評価	最終 評価	達成状況及び改善策	評価委員の意見		
学力の向上	学習意欲の向上と自主学習の充実	基礎的・基本的な知識・技能の定着	①生徒アンケート （「なぜ学ぶのか自ら考える」肯定的回答率） ②自主学習ノート提出率 ③学力調査等 （県や全国平均以上の生徒の割合）		A：80%以上 B：60～80% C：60%以下	教務 研究部	B		①66% ②最高70% ③全国学力・学習状況調査（3年生） 69% 教育相談等を活用し、自主学習が定着していない生徒の実態把握に努めるとともに、その実態に応じた個別の支援を充実させていく。	自主学習が定着していない生徒の実態把握に努めた上で、個別に学習支援をしていることについては非常に評価できる。 生徒の自主学習に対する意識は高くなってきているように思う。意識から行動へ結びつこうと引き続き指導をお願いしたい。また、小学校と連携した学力向上の取組を行ってほしい。 自主学習とはいえ、習慣化させ学力向上を図るために、個々に応じた課題や十分でない生徒へは宿題的な家庭学習の素材を提供してほしい。 担当分掌である教務研究部でもう少し力を入れていただき、最終評価が「A」になるように努力してほしい。		
	協調学習の実践	深い学びを引き起こす授業の実践	①教職員授業評価アンケート （『話し合う活動』の肯定的評価） ②生徒授業評価アンケート （『話し合う活動』の肯定的評価）		A：80%以上 B：60～80% C：60%以下				B		①69% ②88% 本町が推進している協調学習の実践及び改善を今後も継続し「自分の考えを積極的に伝えること」及び「考えを深めたり広げたりすること」を「深い学び」に結びつける指導を今後も追求していく。	協調学習の中で、生徒どうしが学んだことを伝え合い話し合うことで学びが深まっているように感じる。生徒の授業評価に対する肯定的な回答が88%というのも、協調学習のよさを生徒が感じている表れだと思う。引き続き取り組んでほしい。 授業評価アンケートの結果から、授業者が授業を振り返り、授業の改善と工夫を日常的にまた組織的に努力している成果だと思う。 担当分掌である教務研究部でもう少し力を入れていただき、最終評価が「A」になるように努力してほしい。
社会に貢献する力の育成	自らの成長が実感できる	進路指導の充実及び進路実現に向かう意欲・態度の向上	①保護者アンケート （進路に関する情報提供への肯定的評価） ②生徒アンケート （自分には良いところがある・挑戦しているところがあるへの肯定的評価） ③英語検定等の受検率		A：80%以上 B：60～80% C：60%以下	生徒安全 全部	B		①100% ②良いところ～ 82%、挑戦している～ 87% ③英語検定等の受検率 50% 今後も進路に関する情報提供や進路学活等を定期的に行うとともに、進路に関する手続等を確実に進める。生徒が自らの成長を実感できるよう個に応じた検定受検等を進めていく。	英語検定や数学検定を積極的に受検することにより、困難な目標に取り組むことができているとともに、生徒自らが成長を実感できる環境ができています。 早い段階で目標を設定させる必要があると思う。2年生の1学期には、高校・大学(短大・専門学校)・就職などの将来ビジョンを考えさせることも必要だと思う。加計高校が連携校だから高校受験はないという発想では後々困ると思うので、高校卒業後の進路など、先を見通した指導をお願いしたい。		
	実践意欲の育成	自己肯定感の向上	① i-check・生徒アンケート （自己肯定感の肯定的評価）		A：80%以上 B：60～80% C：60%以下				B		① 72.1% 今後も学校生活を通して円滑な人間関係づくりを進めていく。また、指導者は、授業や学校行事など生徒指導の3機能を活かした指導を行い、肯定的な評価を続けていく。	小規模校の強みを生かして、学校行事や部活動においてそれぞれの役割を持たせることにより、自己肯定感の向上に努めている。 ボランティア活動などの取組を通して生徒が達成感をもち、自己肯定感が高まっているのだと思う。今後も継続して取り組んでほしい。 これからも気になる生徒がいたら、教職員がワンチームとなって課題解決に取り組んでほしい。
	地域貢献の意欲と態度の育成	地域貢献活動への参加	① 生徒アンケート・生徒の感想 ② 保護者・地域アンケート （「ボランティア・地域活動等参加」への肯定的評価）		A：80%以上 B：60～80% C：60%以下				A		①65.8% ②100% 生徒や保護者は、地域活動、ボランティア活動の意義は理解している。生徒は、ボランティア等に参加できていないことで数値が低くなっている。今後も生徒会を中心に参加を呼び掛けていきたい。	生徒の地域貢献活動への意欲は向上していると思う。このことが一過性なものにならないよう、また、生徒が自主的に地域に貢献していこうとする意欲がもてるよう継続して取り組んでほしい。 部活動等により参加者が限定される面もあるが、中山間地域であることや小規模校であることを生かし、地域とのつながりやボランティア活動等に積極的に参加している。これからも、地域社会とのつながりを持ち、社会人になるための準備を継続して取り組んでほしい。
信頼される学校をつくる	学校の公開性の向上	保護者・地域への教育公開及び情報発信の充実	①保護者アンケート ・学校教育に対する満足度 ・「地域公開・授業公開」「ホームページ・学校通信等情報発信」に対する肯定的評価		A：80%以上 B：60～80% C：60%以下	総務部	A		学校教育に対する満足度…82.8% 地域公開・授業公開…96.6% ホームページ・学校通信等情報発信…96.6% 授業や部活動、学校行事等での生徒が主体的に活動する場を設定し、そのがんばりを肯定的に評価していくことで、達成感や充実感を得させていく。また、引き続き、ホームページや学校通信等を通して、生徒のがんばっている姿を発信していく。	教職員の働き方改革が叫ばれている限られた時間の中で、ホームページ等を通して効果的に情報発信ができています。 学校通信は学校の教育活動の要点が網羅されていると思う。 最近社会問題にもなっているSNS等の問題について、保護者にも啓発してほしい。		